

各位

上場会社名	株式会社 フェリシモ
代表者	代表取締役社長 矢崎 和彦
(コード番号)	3396)
問合せ先責任者	執行役員 経営企画室長 宮本 孝一
(TEL)	078-325-5555)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年4月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2021年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年3月1日～2020年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,003	△152	△117	△130	△19.63
今回修正予想(B)	16,167	924	898	761	114.58
増減額(B-A)	2,164	1,076	1,016	891	
増減率(%)	15.5	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績(2020年2月期第2四半期)	13,647	196	179	183	26.41

2021年2月期通期連結業績予想数値の修正(2020年3月1日～2021年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	29,587	58	128	105	16.01
今回修正予想(B)	31,645	461	477	418	63.60
増減額(B-A)	2,057	402	349	313	
増減率(%)	7.0	685.2	271.4	297.2	
(ご参考)前期実績(2020年2月期)	28,607	304	365	365	52.57

修正の理由

1. 2021年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年3月1日～2020年8月31日)

2021年2月期第2四半期(累計)における当社グループの業績見通しは、売上高が16,167百万円と前回発表予想を2,164百万円上回る見通しとなりました。上半期につきましては、新型コロナウイルス感染症によって在宅時間が増加する中、独創的な商品の提供や各種メディアの積極的な活用によって顧客数が期首の計画より大幅に増加したことで、ファッションアイテムや雑貨商品の売上げが期首の計画を大きく上回りました。

販売費及び一般管理費につきましては、顧客数の増加に伴う出荷件数の増加によって商品送料等の販売費は計画を上回りましたが、一般管理費や広告費が計画を下回ったことで営業利益が924百万円と期首の計画を1,076百万円上回る見通しとなりました。また、経常利益につきましても898百万円と期首の計画を1,016百万円上回る見通しであります。

これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益も761百万円と期首の計画から891百万円増加する見通しであります。

2. 2021年2月期通期連結業績予想数値の修正(2020年3月1日～2021年2月28日)

2021年2月期における当社グループの通期の業績見通しは、売上高が31,645百万円と前回発表予想を2,057百万円上回る見通しです。上半期は上記のように期首の計画を大きく上回って推移しましたが、下半期につきましては、現時点では消費の動向については不確実であることから、大きな増加は見込まず期首の計画と同程度としています。

販売費及び一般管理費につきましては、顧客数の増加に伴う出荷件数の増加によって商品送料等の販売費の増加や広告費の増加を見込んでおります。また、顧客単価の低下見込みによる販売費比率の上昇を勘案したのようになっております。一方、現在の堅調な業績推移をより確固たるものにするため、商品力強化、顧客数増加、新たなマーケティング手法の開発及び物流関連設備の強化など戦略的投資を計画しております。

これらの結果、営業利益の見通しが461百万円と期首の計画を402百万円上回る見込みとなり、経常利益につきましても477百万円と期首の計画を349百万円上回る見通しであります。また、親会社株主に帰属する当期純利益も418百万円と期首の計画から313百万円増加する見通しであります。

※上記に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以 上